

風の夢だより 初夏号Vol.2

2006.6.20
(有)造園研究所風夢
TEL 0538(66)577
7 http://www.fu-mu.co.jp

梅雨の季節がやってまいりましたがみなさまのこと、雨にも負けず日々元気にお暮らしのことと思います。さて、人には嫌われ者の雨ですが、草や木にとっては我が身を潤す嬉しい恵み。

新緑の頃に降る雨を りよくう 緑雨
青葉に降りかかる雨を すいう 翠雨
草木を潤す雨を かんう 甘雨

様々な雨を表現してきた日本人ですが、雨と草木の関係も、やはり詩的に表現していますよね。細やかな日本人の感性を呼び戻しつつ、この季節の色と匂いを味わいませんか？



晴れでも 雨でも 好きな庭に

あじさいのはなし

この季節、あちらこちらの庭先で咲き誇っているあじさい。自分好みの色を見つけると、立ち止まってつい見入ってしまいます。みなさまは何色のあじさいがお好きですか？はっきりとしたピンクや青、紫の堂々としたかわいらしさもいいし、ほんのり色づいた程度の儂い感じもロマンティックで素敵ですよ。



さて、あじさいを漢字で書くと、『紫陽花』。でもこれ、もともとは昔の中国で他の花に付けられた名前だったんです。それを、我が日本平安時代の学者、源順さんがあじさいに使ったところ、そのまま誤って広がってしまったんですって。では日本での“あじさい”の語源は何なのでしょう。有力な説としては、『集真藍』本物の藍色で染めたような色の花の集まり 又は 真に藍色の花の集まり ということから、“あづあい” “あづさい” “あじさい”になったそう。

あじさいの花は、みなさんも御存知の通り、土壌が酸性なら青に、アルカリ性なら赤に(大雑把にいうと)なります。日本の土壌は酸性なので、日本最古のあじさいは、青色だったそうです。

今でこそ、あじさいは誰もが知っている、なじみ深い庭木ですが、江戸時代の日本においてはその七変化する花色から「ナナバケ」「幽霊花」とも呼ばれ、実はあまり人気がありませんでした。その為庭木としてはあまり植えられなかったといえます。

そんなあじさいを一躍人気者にしたのが、鎌倉の明月院だそうで、そこに植えられたあじさいの美しさに人々はあじさいの虜になっていったそうです。花も、見る人の気分次第で見え方が変わってくるのかもしれませんがね。



この時期の日本の風物詩 “雨にあじさい”
御近所さんのあじさいも楽しみつつ、新たに自分好みのあじさいを植えてみるのも、梅雨を楽しむひとつの方法かもしれませんね

心に感じる旅



5月、京都の新緑を堪能してきましたので、みなさまにも御紹介させていただきます

京は嵯峨野、嵐山から30分程歩いたところに、隠れた名所『祇王寺』があります。

一步足を踏み入れると、静寂の山の中、緑に輝く一角が出現します。自然の迫力と人の手による繊細さがみごとに合わさったその庭園は、こじんまりとしながらも、そこからあふれんばかりに伸びるもみじの幹が印象的な、心に残る良い景色でした。



やわらかく、あたたかく、大地を覆う苔の輝き

のびやかに立ち並ぶもみじの樹幹

繊細な葉の膜で包み込む様な京もみじの枝葉

京都のもみじは一枝一枝の葉同士が重ならない薄さで、ゆったりとした曲線を描いています。枝葉の下から見上げると、まさに自然の膜に包まれている様で、その膜の芸術的な模様は、見ていて飽きることがありません。そこには、そのお寺の長い歴史を見守ってきたもみじの古木と、京の文化、景色を守り続けている京の人々、そして職人の織りなす、世界に代表する日本の美がありました。

ちなみに、上の写真右側が只今風夢のパソコン待ち受け画面です。いつか会社の庭をこんな風にしたい！その時は是非、遊びにいらして下さい(^)/



番外編：京都の石使い

京都には、変化に富んだ石の使い方があちらこちらに散らばっていました。



モミジをきれいに紅葉させる方法！

移植後のモミジは、きれいに紅葉します。
それと同じ様に、モミジにとってちょっと厳しいかなという状況をつくってあげると、静岡でも鮮やかな紅葉を楽しむことができます。

- ・ 夏から肥料をあげない。
- ・ 8～9月頃、幹の直径の5倍位離れた木の周りに、ぐるっとスコップをいれて根を切る。

今年の秋の楽しみの為に、この夏お試し下さい

苔を楽しむ

日本庭園と言えば苔がつきものですが、庭の地表面を覆う地被植物として苔を植えるのは、日本独自の利用法なんです。

湿度の多い日本だからこそ、きれいな姿を見せてくれる苔。

しかし、庭の景色として楽しむには、きちんと管理してあげなくてはなりません。

苔は直射日光を嫌い、他の植物よりも水を必要とする植物です。

植え付けは、落葉樹の下がベスト。木漏れ日がかかる程度の半日陰が理想的です。

水あげは、春から夏は1日2～3回たっぷり。秋から冬は、1日1回軽く散水してください。

雑草を抜いてあげることも忘れずに。

手をかけてあげただけ、心和ませる姿を見せてくれる苔。

その姿を維持させているお宅は本当に素敵です。

でも、そこまではできないけれども苔のピロード感を

楽しみたいと言う方。

水あげは霧吹きで簡単な、苔玉や鉢植えで育てて

みてはいかがでしょうか。



大石作

苔のオブジェ

用意するもの：

苔 ケト土 水苔 苔をくっつける台

台に、ケト土を練り付けます。その上に少量の水苔をくっつけて、霧吹きで水を全体に吹きつけます。

その上に苔を押さえつけ、あとはもう一度水を吹き付ければ完成！

本格的な苔玉よりも簡単につくりたい時は、こんなお手軽な方法を利用してみては。

苔は、その辺にきれいな状態で生えていればそれを使ってもよいし、ケト土と水苔は市販されています。

台は、写真のものは流木を使用していますが(水が蒸発しやすいのが難点です)、お好みで色々なものにチャレンジしてみても楽しいですね！！



フッキソウのすすめ

樹木の株元に何を植えようか、お悩みの方もいらっしゃるのでは...

そんな時にオススメしたいのがフッキソウ。常緑のグランドカバーで、とても良く広がり、重宝します。

そんな葉が密に茂る様から、“繁栄”の意味をもたせて付けられたこの名前『富貴草』。別名『吉事草』とも言うめでたい草です。

木々の株元を覆う姿はきちんとしていて、潔さも感じさせてくれます。

4月頃には白い素朴な花も咲き、斑入りの種もあり、植栽のアクセントにはピッタリ。

また、ヤブコウジなどと混植しても、雰囲気がいいかも！

風夢の近況報告



A邸 '06年6月

数年前に庭の半分を、そして今回残りの半分を修景。窓からの眺めを大切に、植栽の配置で奥行き感を出した。また、植物の大好きな御夫妻が庭に出ても楽しめる様、延べ段、タマリユウ、砂利で地面にも変化をもたせた。



O邸 '06年6月

建物前面が広い面積で土間の駐車スペースだが、那智黒の石を埋め込み大胆な目地ラインを入れることで、シンプルながらも建物と調和した、間延びしないデザインに。土間コンクリートの角をまるく落としてあるので暖かみも加わり、庭へと続く栗石園路とのつながりも出している。さらし竹と木枠の垣根と両側のウッドフェンスで、敷地全体が引き締まった。



石組工事後

石組工事前



O邸 '06年5月

法面状の急勾配部分を石組みで少なくし、管理道を設けたいという御施主の希望により、青石を組んだ。大小の石を組み合わせることで、石自身の重みが合わさり崩れなくなり、見た目にも石の表情がおもしろい。



スタッフ紹介

新人から順番に御紹介させて頂くことになりました。よろしくおねがいします！！



毎日、緑に囲まれて幸せです。周りの男の人たちに負けないよう、人の倍働きます！



1番下っばなので、がむしゃらにがんばります。彼女ほしいです。



庭や7年目ですが、風夢では新人ですのでよろしくおねがいします。早く子供ができるようがんばります。